

—イラク古代文化研究所創設40周年記念—

2017年
国士館創立
100周年

企画展

イラク西南沙漠アツタール洞窟出土の古代織物展

〜2千年前の洞窟墓とその出土織物〜

特別イベント開催

(詳細は裏面)

第1回 10月14日(金) ミニ講座

牛木 久雄

第2回 11月2日(水) 講演会

松本 健・坂本 和子

第3回 11月25日(金) ミニ講座

岡田 保良

第4回 12月16日(金) ミニ講座

松本 健

2016年9月26日(月)～12月22日(木)

10:00～16:00 入場無料

閉室:土・日・祝日、11/4(金)

※ただし、10/2(日)、11/3(木)は開室します。

国士館大学イラク古代文化研究所展示室

何故、国士舘大学がイラクで調査を行うことになったのか？
その原点となった遺跡がイラク西南沙漠にあるアッタール洞窟
です。アッタール洞窟では約2000年前の墓が発見され、
たくさんの織物や皮革製品などが出土しています。

本展示ではその中でも代表的な洞窟の埋葬例を中心として、
アッタール洞窟から出土した貴重な織物や皮革製品を展示いた
します。



アッタール洞窟 C-17 出土織物

特別イベント 申込不要 無料

【第1回】ミニ講座

2016年10月14日(金) 14:00~16:00 (会場: 地域交流文化センター1F 講義室2)
「沙漠と水と生活」 牛木 久雄 (イラク西南沙漠アッタール洞窟発掘調査団 元調査員 (水文学))

【第2回】講演会 (※楓門祭)

2016年11月2日(水) 13:00~17:00 (会場: 国士舘大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎 34号館B304)
第1部 企画展特別講演会
「イラク西南沙漠アッタール洞窟の発掘調査」 松本 健 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授)
「イラク西南沙漠アッタール洞窟出土の古代織物」 坂本 和子 (国士舘大学イラク古代文化研究所 共同研究員)
第2部 ヨルダン ウム・カイス遺跡報告会2016

【第3回】ミニ講座

2016年11月25日(金) 14:40~16:10 (会場: 地域交流文化センター1F 講義室2)
「イラク西南沙漠アイン・シャーイア遺跡の発掘調査」 岡田 保良 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授)

【第4回】ミニ講座

2016年12月16日(金) 14:00~16:00 (会場: 地域交流文化センター1F 講義室2)
「イラク西南沙漠と遺跡群」 松本 健 (国士舘大学イラク古代文化研究所 教授)

文化遺産を守るために

国士舘大学イラク古代文化研究所は、設立以来40年以上、メソポタミア研究に携わってきました。しかし近年のイラクは戦火による混乱が続き、文化遺産の略奪・盗掘が頻発しています。

2004年から日本の国際協力機構(JICA)がユネスコのイラク文化遺産保護国際調整委員会の提案を受け、ヨルダンにてイラク人の文化遺産に関する研修を行うべく動き出し、国士舘大学はこの事業に全面的に協力しました。さらにヨルダン考古局から、事業の実施場所としてウム・カイス遺跡が提供され、2005年以降、実際の発掘を含む研修プログラムを実施しています。

同様の趣旨でイラク古代文化研究所を中心に、2つの文化遺産研究プロジェクトが始動しました。ひとつは文部科学省に採択された平成17(2005)年度から5年間にわたる私立大学学術研究高度化推進事業、もうひとつは平成17(2005)年度国士舘大学研究教育支援プログラムで、どちらも「戦後イラクの社会基盤復興に活かす文化遺産学」を課題とし、文化遺産学の擁立とイラクの文化遺産復興に寄与することを目標としています。

興味関心ある方々とともに古代の文化遺産と向き合い、学び、文化遺産を未来に永く伝える努力をしていきたいと願っています。

国士舘大学イラク古代文化研究所・教授
「国士舘大学文化遺産研究プロジェクト」代表 松本健



国士舘大学イラク古代文化研究所展示室 交通案内

〒154-0022

世田谷区梅丘2-8-17 地域交流文化センター2F

tel: 03-5451-1926 fax: 03-5451-1927

担当: 相川

・小田急線梅ヶ丘駅下車 徒歩13分

・東急世田谷線松陰神社前駅又は世田谷駅下車 徒歩10分

・渋谷駅南口バス乗場18番「世田谷区民会館行」バスで

終点下車 徒歩7分

<http://www.kokushikan.ac.jp/research/ICSAI/>

